

## 4 組織 CPD 合同講演会（第 94 回特別講演会）のご案内

主催：日本技術士会近畿本部 環境研究会・化学部会・繊維部会・農林水産部会  
協力：日本技術士会近畿本部、日本繊維技術士センター(JTCC)

環境研究会の9月度の特別講演会は、主催欄記載の四部会合同講演会として、下記の内容で開催いたします。今回は COVID-19 の蔓延防止対策を行った上での、リアル会議方式で開催いたします。このため、定員を45名とさせていただきますので、早期にお申込をお願いいたします。

### 記

日時：2020年9月26日(土)13:30～16:30

場所：アーバネックス備後町ビル3階 ホール

(大阪府中央区本町 地下鉄 御堂筋線 本町駅下車 3番出口で右方向(東)へ約40m、  
交差点で北へ向かい左側のビル(出口から徒歩約3分))

講演会総合テーマ：地球の環境と資源を守る～プラスチックのごみ問題と今後の課題～

《演題1》環境と資源を守る次世代への責任・・・まやかしの科学技術論を超えて

《講師》京都工芸繊維大学 名誉教授 奥 彬 氏

《要旨》マイクロプラスチックによる海洋汚染が問題になり、廃プラを減量して正しくリサイクルし、環境と資源を大切にしつつ産業と生活スタイルを変えようとする活動が続けられてきましたが、これまでの対策では直面する問題を解決できるとは思えず、持続型社会に近づこうとする努力が案じられます。

廃プラの焼却熱回収技術は、二次資源としての廃プラの材料特性と材料エネルギーを捨てる産業責任の回避であり、問題解決にはなりません。廃プラをリサイクルにより生き返らせ、リサイクル技術を正しく使う社会を構築することが、次世代への我々の責任です。

《演題2》New Plastics Economy と循環経済

《講師》同志社大学 名誉教授 郡 篤 孝 氏

《要旨》エレン・マッカーサー財団の New Plastics Economy について、バタフライ ダイアグラムを使って、「今後のプラスチックのあり方」について論じます。

循環経済は、「自然循環(バイオエコノミー)と「社会循環(サーキュラーエコノミー)」からなっています。その原則は、自然マテリアルの最小化・循環マテリアルの最大化・自然への排出の最小化にあります。更に、自然循環におけるレジリエンスと社会循環における Re\*と De\*の技術イノベーションとソーシャルイノベーションに注意を払いながら、「プラスチック問題」を考察します。

注記\*) Re とは、Reduce、Reuse、Recycle にとどまらず、Refill、Repair、Refurbish 等、

De とは、分子レベルのリサイクルである Demonomer、Depolymer、Decoating 等の分解(解重合)を指す。

CPD区分：A、時間 2.75Hr です。

参加費：環境研究会会員は、無料(年会費で徴収済)・・・年会費は3,000円です。

繊維、化学、農林水産の各部会員は、2,000円

一般は、2,000円

お申込み・お問い合わせ

環境研究会：藤橋 雅尚 Eメール：[m.fujihashi@nifty.com](mailto:m.fujihashi@nifty.com)

締切日：9月17日(木)・・・定数に達しましたので9月1日からキャンセル待ちにしています

募集定員：全体で45名(先着順)

以上